

ACTIVE SAFETY アクティブセーフティ

■日産は安全のために、走りの性能を追求します
意のままにクルマを操れることが、安全につながります。安定した走りためには、クルマの限界性能を高めると同時に、いまだれくらいの余裕があるかを知らせ、危険な状態を前もって防ぐようにすることが大切です。日産はそのためにサスペンションの性能向上を図り、さらに安定した走りの実現に努めています。

■正しい運転姿勢が、安全運転の基本です
無理な姿勢で運転を続けていると、疲れがたまり危険のもとです。プリメーラは、最適なドライブポジションがとれるよう、運転席にシートリフターやランパーサポートなどの調整機構を採用。ロングドライブにも、余裕をもって安全に運転できます。



■後続車への明快な意志表示
後続車にはっきり見やすいハイマウントストップランプを4ドアに標準装備。(2.0Teはリヤスポイラー組込み式、2.0eGTには装備されません)

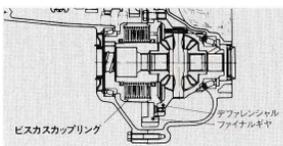


■しっかり確実に止まる、強力ブレーキシステム
「安全に止まる」ために、フロントブレーキは全車ベンチレーテッドディスク式を装着。剛性の高いキャリパーや大径ローターの採用で、放熱性の向上をはじめ、踏力変化も小さく抑えることができました。リヤブレーキは2.0L系にディスク式を、1.8L系にはリーディングトレーリング式を装着。高速からのブレーキングにも、安定した制動効果を発揮するなど、安全で信頼性の高いブレーキシステムです。



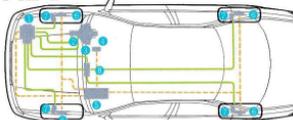
■走りの安心感を高めるフロントビスカスLSD
(リミテッドスリップデフ)

内部に封入されたシリコンオイルの粘性が、左右輪の回転差に応じて、トルク配分を最適にコントロールするLSD。たとえば、急なコーナリング時の加速などで、内輪のグリップ力が低下し空転しかけても外輪の駆動力を保持できるため、安定した姿勢で走り抜けることができます。じやり道や雪道走行時も急激な回転変化が起こらないため、車体が安定し、高い直進安定性を発揮。天候や路面状況にかかわらず、確実な操縦安定性を保つことができ、安全性をさらに向上することができました。(2.0eGTを除く2WD車にメーカーオプション)

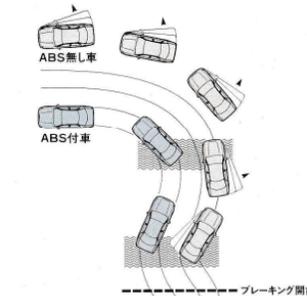


■制動時の安全をさらに高めるABS(アンチロックブレーキシステム)
滑りやすい雪道などで急ブレーキを踏むと、車輪がロックしやすい状態になります。前輪がロックするとステアリングが効かなくなり、後輪がロックすると尻振りを起こすなど、クルマのコントロールが困難になります。このABS(アンチロックブレーキシステム)は、とっさの急ブレーキにもコンピューターがブレーキ力をきめ細かく制御し、タイヤロックを防止するシステムです。ブレーキングしながらでもステアリング操作ができるため、高い操縦安定性を確保。障害物回避にも優れた性能を発揮します。(2.0Teと2.0eGTに標準装備。2.0Ts、2.0Tm、2.0Tにメーカーオプション。2.0Tの本革バージョンにはセットで装備されます)

ABS



- アクチュエーター ●マスターシリンダー ●ブレーキ能力装置
- 警告ランプ ●モジュール ●回転速度センサー ●ホイールシリンダー
- デュアルプロポーションシグナルバルブ



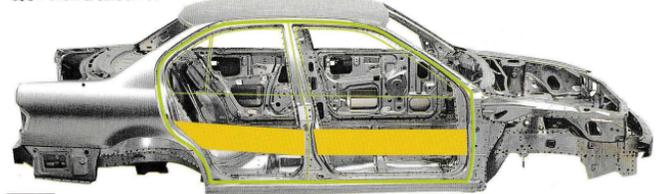
ブレーキング開始



PASSIVE SAFETY パッシブセーフティ

■乗員を万が一から守る、高剛性の衝撃吸収ボディ
世界でもトップクラスのボディ剛性を実現し、クルマの基本性能を飛躍的に向上させたプリメーラ。もちろんそのボディ構造は、不可避の事故にあった場合にも乗員のダメージを最小限にとどめる衝撃ボディとなっています。衝突時はボディ全体で、フロントノーズ部のエネルギーを効果的に吸収。キャビンへの影響を最小限におさえます。最新のコンピューター解析技術と衝突実験によって高い衝撃吸収性能をもったボディ構造を可能にしました。さらに、居住空間の部分は、主要骨格部の強化をはじめ各結合部の補強により、優れた剛性を確保。不測の事態にも高い安全性を発揮する作りです。加えて、衝撃吸収ステアリングやインストパッドなど、細心の配慮で乗員をしっかり守ります。乗るたびに感じる気持ちよい包まれ感と安心感は、この緻密で最新のボディ構造がもたらした、初めて可能になったのです。

■高い強度のサイドアビーム
万一、ボディサイドに衝撃を受けた場合を考慮し、前後ドアの内部に補強材としてサイドアビームを採用しました。これにより、側面からの衝突に対するドア強度をいっただんと向上。(全車)



●：サイドアビーム

■万一の際の安心感を高めるシートベルト

万が一の場合に、乗員を守るシートベルトは、正しく装着することが大切です。そのためプリメーラは、前席シートベルトに、体型にあわせて肩部の位置が決められる上下調整式を採用。さらに、後席にはいち早く点式シートベルト(中央は2点式)を採用し、乗員の保護安全性を一段と高めています。

■未装着を知らせるシートベルト警報
イグニッションキー「ON」または「START」から、数秒間ランプが点滅。同時に電子ブザーが鳴りドライバーにベルトの装着を促します。(全車)

